

ただお前がいい

校 長 武井 正明

先日、念願叶って、高校時代の友人、秋葉君父子とラウンドしました。（校長 vision 9月18日『ありがとう、秋葉』）これがもう楽しくてたまらなかった。

不思議なものだ。実際高校時代は、深く話をするとはなかった間柄だ。だから親友ではなかった。ひたすら私は、明訓の試合を観に行っていただけなのだから。

天気予報はプレー日が近づくにつれて、どんどん悪くなる。

秋葉からの「少しでも雨がこらえてくれたら助かりますね」に、私は「まあ雨なんか関係ないね。秋葉とラウンドできればそれで○」と返した。彼は、内心「武井…やめないんだ…」と思っていたようだ。

予報は当たり、早朝見附の自宅を出る時は、もうバケツをひっくり返したような土砂降り。とてもプレーできる天候ではなかった。これは行って、コーヒー飲んで終わりかな。でも、秋葉と話が出来れば、それでもいいや…。

それが月岡温泉に近づくにつれ、天気は徐々に曇りに回復して希望が出てきた。

会場に着くと、笑顔の秋葉が待っていてくれた。そして、42年振りに初めてのラウンドが始まると、もう同窓会の会話になっていた。まあいっぱい話した。

途中、天気はコロコロ変わり、3ホール目には、なんとみぞれが降ってきた。

でももう、楽しい気持ちは止められない。雨で急ブレーキのパットにも大笑いだ。

「いや～、これは絶対に忘れられないラウンドになったなあ」

彼の息子の悠君は、パワフルで伸びしろ十分。スコアはまだ可愛げがあってよろしい。

もうひとりの荒さんは、会社を背負って、月の半分は全国を飛び廻っておられるナイスガイ。そして坂井輪中の6つ後輩と分かり、即席の「坂中極悪コンビ」が誕生した。

お昼休みの天気が最も良く、暑いくらい。それがコースに出たら、日頃の行いが出て、今度は時々稲光が走る、雷雨の怖い状況になった。17番ホールで、私はカミナリに怯えて（違う。技術がないだけっしょ）OBを打ち、秋葉に逆転された。そこでついに中断。電動カートも止まった。ここで止めたら俺の負け。秋葉は止めてもいいよ、と言った。

そこから、待つ止めると二転三転後、天気が少し回復した。プレー続行だ!!

最終ホールで秋葉はティーショットを大きく左に曲げた。最後に彼の人の好きが出た。そして彼はダボ。オレは気迫でパーパットを沈め、最後に、どす黒い本性を現した。

1打差でも勝ち。こんなに嬉しく、楽しいラウンドは、なかなかない。

お互い還暦も近いが、もうひと頑張りしよう。そしてまた来年、芝の上で勝負だ。

今日もありがとな、秋葉。本当に勝って嬉しいよ。